



しんまるくん
POWER UP!
SHIN-MARUYAMA DAM

暮らしが変わる
経済が変わる

■ 洪水調節

下流地域を水害から守るため、洪水をダムに貯め込む容量（洪水調節容量）を約3.5倍に増強します。

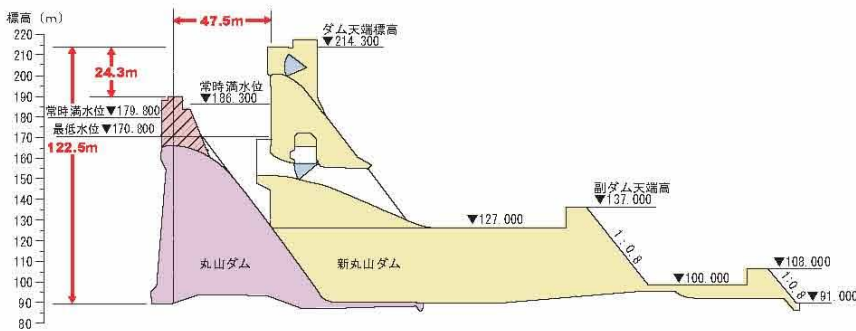
■ 流水の正常な機能の維持

下流河川的环境改善等のため、新丸山ダムで確保する15,000千m³の水（不特定容量）を使って河川に補給します。

■ 発電

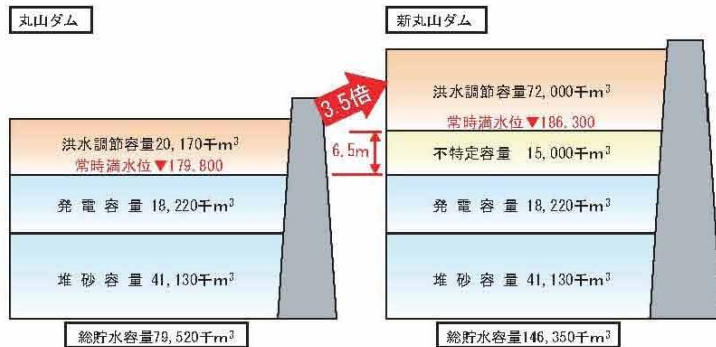
新丸山ダムの常時の水位が上がることにより、既設発電所の出力を増強します。

ダム標準断面図



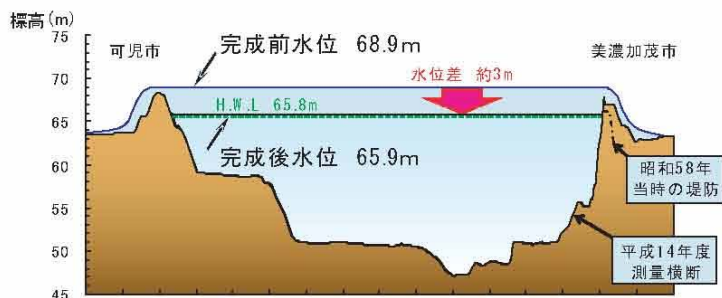
■ 部分は新丸山ダム完成時に撤去されます。

貯水池容量図



不特定容量・・・既得取水の安定及び河川環境の保全等のための流水の確保のための容量

新丸山ダムによる水位低下効果



67.0k（今般ダム下流）地点における水位低下効果

※完成前水位68.9mは木曾川の既存ダム（岩屋ダム、阿木川ダム、味噌川ダム、丸山ダム）の洪水調節後の水位
※対象洪水：昭和58年9月（実績規模）

**新丸山ダム事業の契機となった
昭和58年9月洪水の状況（美濃加茂市）**



（出展）「忘れ得ぬ9.28災害 災害誌（美濃加茂市）」

国土交通省 中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
TEL. 0574-43-2780 (代)

HPアドレス <http://www.cbr.milt.go.jp/shinmaru/>